

公選区長の誕生と区議会の新しい役割

高木鉦作



4月の地方選挙で、二十四年ぶりに公選区長が誕生した。区長公選制の復活した意義は、区長の選任権が区議会から区民の手に戻ったという選任方式の改正だけにとどまるものではない。特別区政の性格が、いままでとは大きく転換することになったのである。

そのことは、区長公選制の復活にともなって、いままでは都の下部団体的な扱いをされていた特別区が、普通の市と同じ独立した自治体に脱皮したことにほつきり示されている。既に4月1日から、特別区は、消防・下水道・清掃などの一部の事務を除き、原則として市の事務を処理する自治体になった。そのうえ、一部の市しか処理できない保健所の事務までも特別区の事務になった。さらに、区役所職員はすべて、それぞれの区の職員になり、各区が自主的に人事を行うことになった。

このように、特別区が市と同じ性格の自治体に転換したということは、住民にもっと身近な自治体は、都ではなくて特別区であること。さら

に、特別区は都のきめられた施策や指針にしたがって施策を実施するのではなく、それぞれの区が独自に施策を立案・決定して実施する自治体になったことを意味している。したがって、新しい区長や区議会の任務は、住民の支持と参加を基礎にして、自主的に特別区を、名実ともに住民に身近な自治体にするにある。

ところで、公選区長の誕生は、区議会のあり方について大きな影響を与えることになった。いままでは、区議会だけが住民の代表機関であった。しかし、これからは区長も住民の代表機関であるから、住民は区議会を通じて、区長に対して直接、要望や不満を表明するようになるし、またそれに対して、区長も敏感に反応する姿勢を示さなければならない。区議会だけが、住民と区政をつなぐ公的なパイプではなくなるからである。

他方、特別区の公式の意思を決める機関は区議会である。したがって、特別区が独立の自治体として、自主的に各種の施策が推進できるようにな

たかぎ・しょうさく
 慶応義塾大学教授 / 行政学

区政への住民参加の第一歩は選挙だ。新しい区政・区議会に対する区民の期待は大きい。これからは、さらにきびしい目が注がれてこよう。写真
 〓 奥沢区民センターで。

ったということは、区議会が多様な住民の意向をまとめ、施策として自主的に決定することを意味している。その点で、区議会の役割は、むしろ公選区長の誕生によって、より重要になってきたからである。

それだけに、区議会や議員にとって大切なことは、住民の苦情や要望を知るために、住民との間の日常的接触を深め、それを区政に反映させること。個々の施策の間の重要度や優先順位を決めるための判断能力を高めること。さらに、区議会の審議を公開して、住民に区政の当面する問題の所在や難点を示し、区民の区政に対する関心を喚起させることである。

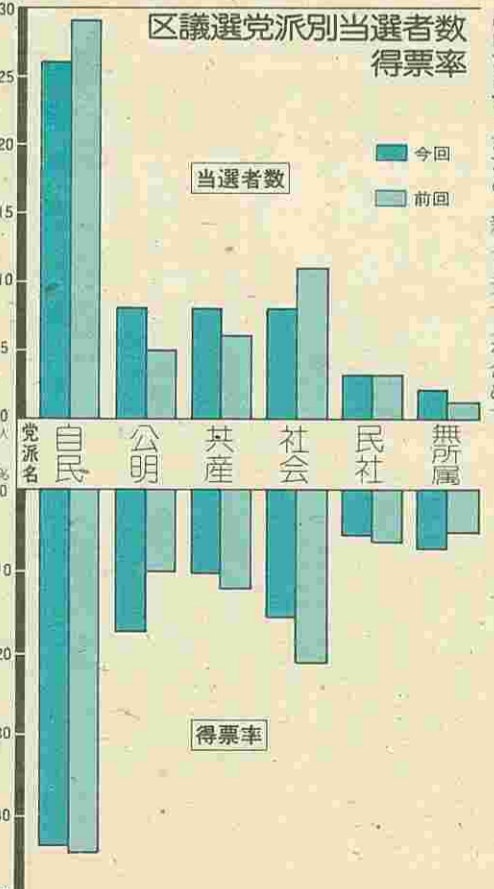
こうした役割の増大と責任の重要性は、区議会だけでなく、区長や区職員、さらに住民についてもいえる。既に、新しく生まれ変わった区政は動き始めている。4月の選挙で選出された区長や区議会が中心になって、いままでの区政の実態を根本的に検討し、住民主体の区政づくりを強力に進めてほしいものである。

公明・共産・社会各党が同数議席に 新区議会の勢力分野変わる

二十四年ぶりの区長選挙と二緒に、区議会議員の選挙が、4月27日に行われ、新しい議会構成が決まった。

五十五の議席をめぐって争った候補者は七十六人(前回は七十三人)。投票率は、前回の七〇・九%から四九・六%と大幅に下回った。また、過去二回一万余票を突破した最高得票者も、今回は六千票台にダウン、三、四千票に三十八人が集中した激戦であった。なお、最低当選ラインも前回の三千五百票から三千七百票に下がった。

当選者の内訳は、現職が三十八人中、三十六人当選し、その強さを発揮した。引退した議員が多かったため、新人も元二人を含め十



九人が顔をそろえた。

各党派別の当選者数は別図のとおりで、公明党・共産党の進出が目だった。半面、自民党が初めて過半数を割るなど、議会構成が大きく変わったことが注目される。前回とくらべて、得票率では公明党だけが七・二%ふえ、議席では自民・社会がそれぞれ三つずつ失った。また、婦人議員も九人から七人に減っている。

新議員の年齢構成は、三十歳代七人、四十歳代二十八人、五十歳代十二人、六十歳代が八人で、平均年齢は前回と同じく、四九・一歳であった。

第二回臨時会5/22 5/26 新しき議会役職決まる 上程議案十件を全会一致で可決

- 議長・副議長選挙
 当選 議長 石井健太郎(自民)
 副議長 相沢 要(社会)
 - 監査委員選任同意
 山沢修白(自民) 迫田参雄(公明)
 - 小学校校舎増改築工事請負契約 三件
 笹原小 一億八二七〇万円(佛 儘 田組)
 松丘小 一億五二六五万円 横山建設(佛)
 等々力小 一億六五七〇万円 榎折原工務店
 - 仮称砧南中用地の取得
 一万八九二平方メートルを約十三億四千二百
 万円で購入する。
 - 専決処分報告 三件
 - 昭和49年度一般会計第八次補正予算
 小中学校用地買収費、校舎増改築の起債の
- 許可に伴い、急ぎよ補正したもの。前号でお知らせした最終予算額に、五億七〇二〇万円が追加された。これで49年度総予算額は、五三三億〇六六五万六千円となった。
- 負担付贈与の受入れ
 4月から移管された保健所・公園の土地と建物を都から無償で贈与。
- 区税条例改正
 地方税法・都条例改正に伴い、非課税範囲の拡大など区条例も改正するもの。
- 区議会委員会条例の改正
 区の組織拡大に伴い、常任委員会の所管編成と名称を変更。また、委員の任期を二年から二年に延長した。

常任委員会

企画総務委員会

- ◎小島光一朗(自民)
- ◎谷口 善志(社会)
- 荒木 義一(自民)
- 吉良 孝幸(自民)
- 小山 雄央(自民)
- 原田 正幸(自民)
- 平山 八郎(自民)
- 大沢 孝明(公明)
- 吉本 保寿(公明)
- 笹尾 淑(共産)
- 森 寿(共産)
- 下条 忠雄(社会)
- 高木 正忠(民主)
- 本多シズエ(無所属)

区民厚生委員会

- ◎甲斐門治郎(公明)
- ◎菅田 昌宏(自民)
- 五十畑孝司(自民)
- 大 千代子(自民)
- 浜中 光揚(自民)
- 山口 昭(自民)
- 迫田 参雄(公明)
- 石原 芳雄(共産)
- 相沢 要(社会)
- 長谷川七郎(民主)

環境衛生委員会

- ◎田中 陸奥(共産)
- ◎宮田 玲人(自民)
- 石橋 寛祐(自民)

建設委員会

- ◎佐藤 正男(社会)
- ◎高橋八重子(自民)
- 小山 菊男(自民)
- 土橋 賀(自民)
- 内藤 義雄(自民)
- 中村 大吉(自民)
- 中塚 護(公明)
- 和田 勉(公明)
- 山崎 治茂(共産)
- 高橋 忍(社会)

文教委員会

- ◎金子 静夫(自民)
- ◎中田 史郎(共産)
- 石井健太郎(自民)
- 内山 武次(自民)
- 六戸 鉄男(自民)
- 山科 芳一(自民)
- 秋田 貞一(公明)
- 三井 勝雄(共産)
- 森田 キミ(社会)

党派別議員名簿

自由民主党		
氏名	住 所	電 話
荒木 義一	桜上水一丁目1-7-102	302-7485
石井健太郎	砧五丁目15-23	416-0920
石橋 寛祐	桜三丁目9-2	426-0447
五十畑孝司	経堂一丁目11-4	429-0239
内山 武次	上馬四丁目27-11	422-1940
大高定左右	上馬四丁目20-8	414-0622
金子 静夫	下馬三丁目28-5	421-1630
吉良 孝幸	若林五丁目8-6	413-4691
小島光一朗	代田六丁目34-23	468-1733
小山 雄央	代田六丁目17-8	468-2816・420-2708
小山 菊男	北鳥山九丁目3-30	300-5732
六戸 鉄男	松原三丁目29-18	325-0555
菅田 昌宏	等々力三丁目6-9	704-3808
大 千代子	駒沢四丁目15-20	421-1383
高橋八重子	代沢三丁目25-4	413-5871
土橋 賀	太子堂二丁目7-8	421-7198
内藤 義雄	世田谷一丁目23-15	426-5151
中村 大吉	下馬一丁目33-2	424-3217
浜中 光揚	船橋四丁目28-15	484-3314
原田 正幸	上野毛一丁目25-8	703-2506
原田 正幸	奥沢三丁目12-7	720-2576
平山 八郎	祖師谷二丁目5-33-305	482-5700
宮田 玲人	羽根木二丁目5-23	321-2171
山口 昭	等々力二丁目19-12 OKビル301	704-5060
山沢 修白	桜新町一丁目14-20	429-5935
山科 芳一	瀬田四丁目10-3	700-0212
公明党		
秋田 貞一	野沢四丁目8-25	424-9377
大沢 孝明	若林一丁目19-4	422-4849
甲斐門治郎	北鳥山一丁目23-7	307-2188
久保田 望	太子堂四丁目30-16	411-2373
迫田 参雄	桜二丁目18-32	425-2265
中塚 護	鎌田四丁目13-29	415-2860
吉本 保寿	大蔵三丁目4-25-503	417-3862
和田 勉	用賀四丁目4-5	700-4249
日本共産党		
石原 芳雄	奥沢三丁目8-6	727-0468
笹尾 淑	北鳥山一丁目16-5	308-2413
田中 陸奥	弦巻一丁目20-17	429-6704
内藤 邦雄	千歳台二丁目12-24	484-2772
中田 史郎	新町二丁目32-5	428-0828
三井 勝雄	船橋五丁目17-7-108	303-5834
森 寿	太子堂四丁目4-8	411-9494
山崎 治茂	赤堤三丁目31-15	321-0597
日本社会党		
相沢 要	南鳥山四丁目12-7	300-7211
唐沢 敏美	奥沢三丁目27-11	727-2950
斉藤 国男	池尻四丁目23-11	413-5018
佐藤 正男	北沢四丁目20-15	468-2388
下条 忠雄	祖師谷一丁目16-11	482-0033
高橋 忍	中町五丁目18-5	704-2528
谷口 善志	北鳥山三丁目21-3	300-8070
森田 キミ	上祖師谷一丁目34-13	300-4803
民主社会党		
高木 正忠	経堂四丁目10-15-401	429-7814
長谷川七郎	上用賀一丁目6-14-221	700-9625
丸山 孝夫	太子堂二丁目20-12	422-8882
無所属		
岸本千代子	宮坂一丁目21-10	426-6060
本多シズエ	砧三丁目22-12	416-6406

(注) 50年6月1日現在。党派内氏名は50音順。

委員会構成

特別委員会

交通対策委員会

- ◎長谷川七郎(民主)
- ◎内山 武次(自民)
- 五十畑孝司(自民)
- 菅田 昌宏(自民)
- 大 千代子(自民)
- 高橋八重子(自民)
- 内藤 義雄(自民)
- 中村 大吉(自民)
- 浜中 光揚(自民)
- 山口 昭(自民)
- 秋田 貞一(公明)
- 甲斐門治郎(公明)
- 和田 勉(公明)
- 内藤 邦雄(共産)
- 中田 史郎(共産)
- 森 寿(共産)
- 相沢 要(社会)
- 斉藤 国男(社会)
- 佐藤 正男(社会)

下水道促進委員会

- ◎山科 芳一(自民)
- ◎大沢 孝明(公明)
- 吉良 孝幸(自民)
- 小島光一朗(自民)
- 小山 雄央(自民)
- 小山 菊男(自民)
- 六戸 鉄男(自民)
- 土橋 賀(自民)
- 原田 正幸(自民)
- 山沢 修白(自民)
- 久保田 望(公明)
- 迫田 参雄(公明)
- 石原 芳雄(共産)
- 田中 陸奥(共産)
- 三井 勝雄(共産)
- 唐沢 敏美(社会)
- 下条 忠雄(社会)
- 丸山 孝夫(民主)
- 岸本千代子(無所属)

特別区制調査委員会

- ◎荒木 義一(自民)
- ◎高木 正忠(民主)
- 石井健太郎(自民)
- 石橋 寛祐(自民)
- 大高定左右(自民)
- 金子 静夫(自民)
- 原 秀吉(自民)
- 平山 八郎(自民)
- 宮田 玲人(自民)
- 中塚 護(公明)

◎印 委員長
◎印II 副委員長



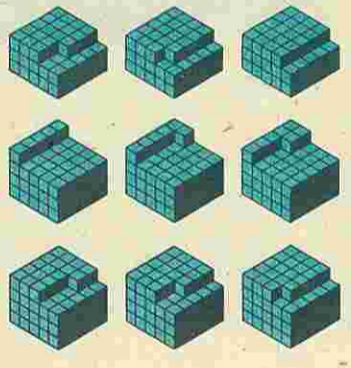
石井健太郎議長 68歳 自由民主党

砧五丁目15-23
東京都出身 農業・養豚業
区議五期 元副議長



相沢 要副議長 66歳 日本社会党

南鳥山四丁目12-7
山梨県出身 書店経営
区議四期 元建設常任委員長



議長・副議長紹介

前号の訂正
ページの写真「東深沢保育園は、新町保育園の誤りでした。」

編集後記
戦後八回目の区議選の結果は一ページのとおりで、地方政治における脱政党、脱イデオロギー化が叫ばれている半面、政変化、多党化の傾向が定着しているようです。

○当選後の初顔合わせは、5月8日に行われ、就任を記念して、全議員で世田谷公園に桜の木を植えました。

○新長、新区議会、区の事務事業拡大と、世田谷区は新しい道に歩み出しました。

○しかし、今年には区の台所が最大のピンチを迎えています。区議会でも、初議後、ここをどう乗りきるかに取り組まなければならない。

○6月には、第三回定例会が開かれます。これら懸案問題をめぐって、活発な議論が期待されます。傍聴などのお問合せは、区議会事務局(四二二)二二二、内線五九〇一、五九八まで。

美女、井の頭の龍神にお嫁いり
「娘がいなくなった」といいます。それだけに、村人たちは、あの末娘にかぎって、ひとことではない」と、美人の娘を、自分の子供がさらわれたきもちで心配したのです。

村のおもだった人が、かわるがわる娘さがしにはりまわりました。遠い甲斐の山路に、上野の宿場にと、いなくなった娘らしうわさかはいるたびに、さかしの旅にみんなであつてわけし、協力しました。占いのするところにも、ずいぶん相談にゆき、東の方といえは東に、南の方といえは南にと訪ねてもみだのです。ところが、ひと月ほどたったある夜ふけのことです。いなくなった娘の音が、宗保の家の裏からさかかきこえてきます。

夫婦は、娘の名をよびあつて、おしたおされた木や草のうえを、ほだしのままではしりつづけると、井の頭の池で、ぼつたりとまっていた。

「娘は、井の頭の池の主のところに、ほんとお嫁いりしたのだ。」夫婦はそう信じて合掌しました。

「娘は井の頭の池の主のところに、ほんとお嫁いりしたのだ。」と、美人の娘を、自分の子供がさらわれたきもちで心配したのです。それだけに、村人たちは、あの末娘にかぎって、ひとことではない」と、美人の娘を、自分の子供がさらわれたきもちで心配したのです。

そのうちに、娘の音がまた美しく、「そおとしておいてください。わたくしは井の頭の主のところに嫁いりしたのです。いつまでも家や村をおまもりするために。」

娘の音がきれて、立ちさるけいはいに、両親の体も自由になりました。雨戸をあけると、外は半げんの月。庭の木や草は、おしたおされ、道ができています。池の蛇神になったかわいいう娘が訪ねてきた足あとだったので。

夫婦は、娘の名をよびあつて、おしたおされた木や草のうえを、ほだしのままではしりつづけると、井の頭の池で、ぼつたりとまっていた。

「娘は、井の頭の池の主のところに、ほんとお嫁いりしたのだ。」夫婦はそう信じて合掌しました。



せたがやの民話と伝説

文・桜井正信
絵・阿伊染徳美